

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



枯死症対策3：モモのゆ合を促す剪定方法



- 引き続き、果樹試験場が発表した「モモ枯死症の発生抑制に向けて（第3報）」を紹介します。
- 剪定時に枝の基部を残す、いわゆる「切り残し」を行なうと、切り口はゆ合しないで**枯れ込みや胴枯病の感染**が多くなり、**枯死の原因**となると考えられます。
- したがって、枝の基部を残さずに「**すり切り**」で切り、**ゆ合剤を塗布**すると、切り口はゆ合して、枯れ込みや胴枯病感染のリスクは低減します（写真）。
- 切り口のゆ合を促し、枯れ込みや胴枯病感染リスクを低減するには、次のことを励行して下さい。
 - ①若木の剪定は、厳冬期を避け、**3月上旬**に実施する。
 - ②剪定時の切り口は枝梢の基部を残さない「すり切り」とする。
 - ③主幹や主枝、太枝の切り口には、必ず**トップジンMペー**スト等のゆ合剤を塗布する。



図 「すり切り」剪定によるゆ合効果



リンゴ人気品種「ぐんま名月」を食べてみた



- モモに限らず、最近、人気の高い果物品種のトレンドを知るためにリンゴの「**ぐんま名月**」を職員17名で試食しました。（育成地の群馬県以外で栽培されたものの多くは「名月」と呼ばれています。今回は県内産のために通例に従います）
- 着色は陽光面がほんのりと染まる程度で、満月というより三日月～半月の雰囲気です（写真）。
- 食味の特徴は、「ふじ」に較べて**酸度が低く、糖度が引き立って高く**感じられました（表）。
- 総合評価は両品種に大差がありませんでした。
- 結局、どちらの品種を選ぶかは酸味の多少に対する**試食者の好み**で決まった様でした。既存概念と異なる品種が多様な消費者嗜好に彩りを加えます。



写真 試食リンゴ 左:ふじ、右:名月
表. 試食結果(1:低→5:高、平均値)

	概観	糖度	酸度	総合
ふじ	3.9	3.5	3.5	3.7
名月	2.9	4.5	2.2	3.9